

授業科目

作業療法学概論

【担当教員名】 岩崎 テル子	対象学年	① 2 3 4	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 作業療法の対象者となる人びとへの理解を深め、作業療法の社会的役割の理解と専門職としての意識の涵養及び評価・治療に必要な基礎的知識を習得する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 作業療法が対象とする人々の気持ちを理解しレポートに書ける。
2. 専門職に求められる資質と適性について述べる事ができる。
3. 作業療法とは何か説明できる。
4. 作業療法の流れを説明できる。
5. 実施場所に応じた作業療法の役割と内容について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	科目オリエンテーション、対人サービスの意味、作業療法士にとって必要な知識と技術	1, 2	講義、面接体験 (COPM)、課題説明
2	作業療法士に求められる資質・態度	1, 2	講義、VTR、討議(面接体験の反省)
3	作業療法教育の全体像とチームアプローチ	1, 2	講義、討議
4	作業療法とは、作業療法の歴史・定義・守備範囲	3	講義
5	作業療法の流れ (評価から治療・指導・援助計画立案)	4	講義
6	作業療法の実施1 (病期、実施場所、ライフサイクルに応じた作業療法の実施)	5	講義
7	作業療法の実施2 (病期、実施場所、ライフサイクルに応じた作業療法の実施)	5	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	作業療法学概論第2版、	岩崎 テル子編、	医学書院、	2005. 3990円
参考書	①Tada, Joni Eareckson著：ジョニー：車椅子の上で見つけた本当の自由。いのちのことは社、2000。 ②星野富弘著：新版 愛、深き淵より、立風書房、2000。③島田広子：負けないで、ドメス出版、1994。			
その他の資料	④頭部外傷や病気による後遺症を持つ若者と家族の会：生きててもええやん、せせらぎ出版、1999 ⑤鶴見和子、上田敏、大川弥生：回生を生きる、三輪書店、1998。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
1. 出席点 10%	レポート課題1. 障害者の方が書いた手記を1冊読んで①概要、②感動を書く。 2. 障害1日体験レポート (車椅子、松葉杖、高齢者体験セット着用、アイマスクetc) 3. COPM (作業療法面接法) レポート (作業の重要度・遂行度・満足度の変化を測る)。
2. レポート点 90% (1課題30点)	